

# リベラル保守の可能性



● 講師 —

**中島岳志**さん

(東京科学大学リベラルアーツ研究教育院教授)

今年には戦後 80 年の年である。世界が、そして日本も大きな転機にさしかかっている。この間さまざまな場面で「リベラリズム」と「保守」の対立が激しさを増しているように見える。「リベラル」とは何か、「保守」とは何か。本質的な問題として問い直しを迫られているのは、この国の社会的価値観や思考原理、あるいは社会関係の在り方ではないか。この問題を一貫して問い続けてきたのが、中島岳志さんの「保守とリベラル」という問題提起であった。歴史の転換点に立つ今、明日への可能性を切り開く中島さんからの提起に耳を傾けたい。

**日時 ▶ 2025 年 4 月 12 日(土)**  
午後 2 時 ~ 4 時 15 分(開場 午後 1 時 30 分)

**会場 ▶ 小金井 宮地楽器ホール**  
(申込み先着 570 名・全席自由席)  
JR 中央線武蔵小金井駅下車 / 南口駅前 歩 1 分

**聴講料 ▶ 一般 1500 円 / 学生 500 円**  
(当日、会場受付にてお支払い下さい)

## ◆お申し込み方法

下記いずれかの方法でお申し込み下さい。定員になり次第締め切らせていただきますのでお早めにお申し込み願います。

- 1) 当会の下記ホームページ(HP)にアクセスし、申込みフォームに必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。
- 2) 往復ハガキを使用し、下記の事項をご記入の上、お申し込み下さい。

▶ 往復ハガキの記載事項：(1) 往信表面の宛先は下記「本を

たのしもう会」事務局。(2) 往信裏面に、①氏名(ふりがな)、②郵便番号・住所、③電話番号、④年齢、⑤同伴者がある場合にはその方の氏名(ふりがな)。(3) 返信表面に、①申込者の郵便番号、住所、②申込者の氏名(宛名)、(4) 返信裏面には何も書かないでください。

▶ お問合せは、下記 HP 内のお問い合わせフォームにて承ります。  
<https://npo-honwotanoshimou.com/>  
または [本をたのしもう会](#)



**主催：出版 NPO 「本をたのしもう会」**

[本をたのしもう会事務局] 〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町 4-31-6-225 (上林 方)



## 中島岳志さんからのメッセージ

近年の日本では、一般に「保守」と「リベラル」は対立する概念として捉えられています。しかし、この見方には大きな問題があると思っています。むしろ保守こそがリベラルでなければならないというのが、私の主張です。それはいったいなぜか。

この問題を考究するためには、そもそも政治における「保守」とは何かを明確にしなければなりません。近年は「保守」のインフレ状態にあり、「保守」の輪郭が崩壊状態にあります。まずは、近代保守思想がどのように誕生し、いかなる人間観・社会観を持ってきたのかをたどる必要があります。

また、現代日本の政党や政治家のあり方を吟味する必要があります。果たして、安倍内閣を支えた自民党は「保守」と言えるのか。家父長的な論理や排外主義的主張が「保守」なのか。

私はどうしても、近年の「保守」といわれている政治現象が、本来の「保守」であるとは思えません。

今回の講演会では、保守の根本をとらえ直すことを通じて、現代社会のあり方を問い直したいと思えます。その中で「リベラル保守の可能性」について、言及できればと思っています。

## プロフィール

政治学者(近代日本政治思想研究、南アジア地域研究)。現在、東京科学大学(旧東京工業大学)リベラルアーツ研究教育院教授。

1975年、大阪府生まれ。大阪外国語大学外国語学部(ヒンディー語専攻)卒業。京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科博士課程修了。京都大学人文科学研究所研修員、ハーバード大学南アジア研究所客員研究員、北海道大学大学院法学研究科助教授を経て現職。

「リベラル保守」を標榜し、価値観を異にする人との対話や寛容性、さらには共同性を尊重する「リベラル」の原理と、人間の不完全性を自覚し歴史の知恵とも言うべき経験知や良識を尊重する保守主義の原理とを架橋することの重要性を説く。旺盛な著作活動、言論活動を続け、鋭い社会批評を展開。高い評価を獲得する。

主要著作に、大佛次郎論壇賞及びアジア太平洋賞大賞受賞作『中村屋のボース：インド独立運動と近代日本のアジア主義』(白水Uブックス)のほか、『ナショナリズムと宗教』(文春学藝ライブラリー)、『パール判事：東京裁判批判と絶対平和主義』(白水Uブックス)、『テロルの原点：安田善次郎暗殺事件』(新潮文庫)、『ガンディーに訊け』(朝日文庫)、『「リベラル保守」宣言』(新潮文庫)、『血盟団事件』(文春文庫)、『岩波茂雄：リベラル・ナショナリストの肖像』(岩波書店)、『アジア主義：西郷隆盛から石原莞爾へ』(潮文庫)、『下中彌三郎：アジア主義から世界連邦運動へ』(平凡社)、『親鸞と日本主義』(新潮選書)、『保守と大東亜戦争』(集英社新書)、『超国家主義：煩悶する青年とナショナリズム』(筑摩書房)、『保守と立憲』(スタンドブックス)、『自民党：価値とリスクのマトリクス』(スタンドブックス)、『自分ごとの政治学』(NHK出版)、『思いがけず利他』(ミシマ社)など。

ほかに、西部邁や若松英輔、土井善晴をはじめ、多彩な識者との共著書多数。

### 小金井 宮地楽器ホールへのアクセス

▶ JR 中央線「武蔵小金井駅」下車、南口駅前(徒歩1分)



小金井 宮地楽器ホール ◆会場までは電車ご利用をお勧めします。◆宮地楽器ホールには駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

小金井市本町 6-14-45  
TEL 042-380-8077  
FAX 042-380-8078

### 出版 NPO

「本をたのしもう会」

出版 NPO「本をたのしもう会」は、広く読書推進活動を行うための非営利グループです。おもに武蔵野市を中心とする多摩地区在住の、志を共にするメンバーが集まって活動しています。読書の面白さや魅力を知ることから考える力を培い、同時代を生きる人々と交流を深めることで、豊かな市民文化を形成することをめざしています。